

Francesco Tristano

Piano Recital

フランチェスコ・
トリスターノ
ピアノ・リサイタル

鍵盤音楽の未来を拓く新時代の音楽家
独自のグルーブで繋げるバッハ、ラヴェル、
トリスターノの新たなランドスケープ



© Marie Staggat

*演奏写真のみ ©Junta Shirai (2023年10月15日三鷹公演より)

2024年 **7月7日 [日]** 14:00開演 (13:30開場)

三鷹市芸術文化センター風のホール 三鷹市上連雀6-12-14

チケット発売日 マークル会員 2024年3月14日[木] / 一般 3月19日[火]

料金 (全席指定) マークル会員 S席 4,500円・A席 3,600円 / 一般 S席 5,000円・A席 4,000円
O-70 (70歳以上 / A席限定) 3,600円 / U-23 (23歳以下 / A席限定) 3,000円

* U-23の中学生以上の方およびO-70ご利用の方は、入場時に身分証明書のご提示をお願いいたします。
* 風のホールは2階席へのエレベーターがございません。階段でのご案内となります。

プレイガイド **三鷹市芸術文化センター**

* 発売初日は以下の方法で午前10時から発売を開始し、窓口販売はございません。

電話予約 チケットカウンター 0422-47-5122

* 10:00-19:00 / 月曜休館月曜が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館

インターネット予約 <https://mitaka-art.jp/ticket>

* 事前登録(無料)が必要となります。

イープラス <https://eplus.jp>

主催・お問い合わせ **公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122**

後援 **ルクセンブルク大公国大使館**



GRAND DUCHY OF LUXEMBOURG
Embassy in Japan

Program

J.S. バッハ Johann Sebastian Bach

フランス組曲第1番ニ短調 BWV812
French Suite No.1 in D minor BWV812

フランス組曲第4番変ホ長調 BWV815
French Suite No.4 in E flat major BWV815

フランス組曲第2番ハ短調 BWV813
French Suite No.2 in C minor BWV813

フランチェスコ・トリスターノ Francesco Tristano
ハロー (2007) Hello (2007)

ラヴェル Maurice Ravel

夜のガスパール Gaspard de la nuit

フランチェスコ・トリスターノ Francesco Tristano

サークル・ソング Circle Song

第2チャコーナ Ciacona seconda

代々木リセット Yoyogi reset

パストラル Pastoral

エレクトリック・ミラー Electric mirror

ラ・フランシスカーナ La franciscana

伝統と革新

新時代のピアニストの鮮やかな現在形、
未来を聴く

©Ryuya Amao

Francesco Tristano Piano Recital

バロック音楽から近・現代の芸術音楽、ジャズ、クラブ・ミュージックを自在に往来する独創的な演奏活動で知られるコンポーザー/ピアニスト、フランチェスコ・トリスターノ。

2023年10月のリサイタルでは、同年に始動させた自身のレーベルintothefutureからのリリース第1弾、J.S.バッハ『イギリス組曲』から第2番、第6番を自作曲と巧みに組み合わせた前半と16～17世紀の音楽と自作曲をノンストップで繋ぎ、「組曲～on early music～」と名付けた後半から成るプログラムを披露。バッハやその先達の音楽にインスピレーションを受けたトリスターノによるポリフォニーの造形美、旋律の躍動感を浮き彫りにした高い解像度を誇る明晰な演奏は、フロア(客席)に集う聴衆を瞬時に魅了しました。

今回のプログラムは、トリスターノのトレードマークとも言うべきJ.S.バッハ、ラヴェル、自作曲で構成されており、2014年の初登場から取り組んできた(“Mitaka Show”と呼ぶ)コンサートの流れを汲むものになります。前半は既に録音も済ませているというJ.S.バッハの『フランス組曲』からの3曲、後半は自身のアルバム『Piano Circle Songs』(2017)、『Tokyo

Stories』(2019)、『on early music』(2022)の収録曲からのセレクション、そしてラヴェルの『夜のガスパール』を組み合わせてお贈りします。

コンテンポラリーな響き、独特の音色、極上のグルーブを伴った鮮烈なバッハ。静謐で美しい旋律と和声が詩的に響くオリジナル曲、テクノを想起させる躍動感とダンスフロアの高揚感が横溢するオリジナル曲。ラヴェルが作曲したピアノ曲の中でも最も至難な演奏技術を要する傑作、『夜のガスパール』。ラヴェルの精緻なピアニズム、陶酔と耽美の極致をトリスターノがどのようにアプローチするかもさることながら、今回取り上げられる作品全てが、彼の演奏に内在する独特のグルーブやビートの感覚に導かれて自然に繋がり、1トラックの音楽であるかのように展開することにもぜひご注目を。

近年、ピアニストの角野隼斗や箏奏者のLEOなど、自身が影響を受けているアーティストの一人としてトリスターノの名前を挙げる若手音楽家が少なくありません。鍵盤音楽の新たな可能性・未来を拓く音楽家が見つめるその先を、ぜひリアルで体感してください。

フランチェスコ・トリスターノ (ピアノ) Francesco Tristano, piano

1981年ルクセンブルク生まれ。2004年のオルレアン(フランス)20世紀音楽国際ピアノコンクールで優勝、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ・フェスティヴァル、ルール・ピアノ・フェスティヴァル等著名な音楽祭に招待される。

フランチェスコ・トリスターノは古典的なトレーニングを受けた新時代のピアニスト、鍵盤奏者、作曲家であり、その音楽的な試みは多岐に渡り、分類するのは困難である。彼はそのキャリアにおいて、様々な音楽-バロック音楽、電子音楽、ダンス、テクノ、前衛音楽など-をそのフィールドの頂点を極めるアーティストたちとのコラボレーションなどを通して新たなリスニング体験へと昇華させてきた。彼のマントラ(スローガン)は「洗練された/教養のある」音楽と「ポピュラー」音楽と呼ばれるもの間には実は差異がない理由についてのアルバン・ベルクの考察から借用された「音楽は音楽(Music is music)」である。地元ルクセンブルクの音楽院などを経て1998年に名門ジュリアード音楽院に入学。在学中にバッハの『ゴルトベルク変奏曲』(2002)でアルバムデビューした後、協奏曲を含む数枚のアルバムをいくつかのレーベルからリリース、またアメリカ時代から親しんできたテクノをピアノで再構築した『Not for Piano』(2007)をはじめとするエレクトロニック・ミュージックの作品をリリースしつつ、2010年3月、ユニバーサル・クラシック&ジャズ(ドイツ)と専属契約を結ぶ。ドイツ・グラモフォンから『bachCage』(2011)、『Long Walk』(2012)、アリス=紗良・オットとのピアノ・デュオのアルバム『スキャンダル』(2014)を発表。

Website <https://francescotristano.com/> Instagram <https://www.instagram.com/francescotristanoofficial/> X <https://twitter.com/fratrister>

2016年にはデトロイト・テクノの名門レーベルTransmatからソロ・アルバム『Surface Tension』を、2017年にはデトロイト・テクノの巨匠プロデューサー、カール・クレイグがオーケストラと共演したアルバム『Versus』に共作者として参加。同年3月、ドイツ・ライプツィヒで自作のピアノ協奏曲『Island Nation』をクリスチャン・ヤルヴィ指揮MDR交響楽団と世界初演、11月にすみだトリフォニーホールで、クリスチャン・ヤルヴィ指揮新日本フィルハーモニー交響楽団と日本初演する。さらに同年12月には、坂本龍一の招きでグレン・グールド生誕85周年「Glenn Gould Gathering」プロジェクト(会場:草月ホール)に参加し、2018年にはそのライヴ・アルバムも発売された。2020年には、ジャンルを超えて活動したウィーンのパピスタ/コンポーザー、フリードリヒ・グルダ(1930-2000)の没後20年を記念して、グルダの名作「プレリュードとフーガ」をデジタル配信限定でリリース。2022年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の番組終りの大河紀行で、フランチェスコ・トリスターノのピアノ演奏が流れた。

2017年、ソニー・クラシカルと録音契約を結び、『Piano Circle Songs』(2017)、『Tokyo Stories』(2019)、『on early music』(2022)をリリース。2023年10月、フランチェスコ・トリスターノの録音を出版するために新しく設立されたレーベル“intothefuture”からバッハの『イギリス組曲』をリリースし、2011年以来NHK「クラシック倶楽部」に再登場。『イギリス組曲』(第2番、第6番ほか)の演奏が放送された。



@MusicMitaka (公財)三鷹市スポーツと文化財団・音楽部門の公式X(旧Twitter)です。ぜひこの機会に「フォロー」をお願いします!

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます。

口座番号: (ゆうちょ銀行) 00190-5-569156
加入者名: 三鷹市芸術文化センター

*「払込取扱票」の通信欄に(予約番号)をご記入ください。

*普通郵便の場合84円、簡易書留ご希望の場合434円を加算してお振込みください。
*振込手数料はおお客様のご負担になります。
*お振込み後、10日程度でチケットをお届けします。

PARTNER

本公演のチケットまたはチケット半券で三鷹駅周辺の「チケットパートナーショップ」の特典が受けられます! <https://mitaka-sportsandculture.or.jp> *サービス有効期間は公演日から7日間

託児あり

本公演には託児サービスがございます。
対象: 1歳~未就学児 定員: 10名(要予約)
料金: お子様一人につき500円
お申込み: 2024年6月23日(日)までに
三鷹市芸術文化センターへお申込みください。
Tel: 0422-47-5122

財団友の会「マークル」会員募集中!!

一般発売日より前に
会員先行予約があります。 MARCL

*年会費2,000円
*チケットの優先予約・割引(1公演2枚まで)、
ポイントの還元(ご利用額の5%)情報誌の送付、
チケットの無料送付(口座会員のみに)。



三鷹市芸術文化センター

181-0012 三鷹市上連雀6-12-14
Tel: 0422-47-5122
JR三鷹駅南口2番バス乗り場から
「八幡前・芸術文化センター前」下車すぐ。
または5・6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。
または徒歩約15分。

*公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。*公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。
*未就学のお子様は入場できません。また、危険防止のため、小学生のお子様は、2階正面席最前列はご遠慮ください。*2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。*お車での来館はご遠慮願います。

Designed by Fumiki Tomioka